

大船渡駅周辺地区のエリアマネジメントの推進について

当協議会では、大船渡駅周辺地区を、当市の中心市街地として持続性、発展性を確保しつつ、多くの人々が集まるような魅力と賑わいのあるまちとしていくため、エリアマネジメントの推進に向けた体制づくりや具体的な取り組み内容等を検討しております。

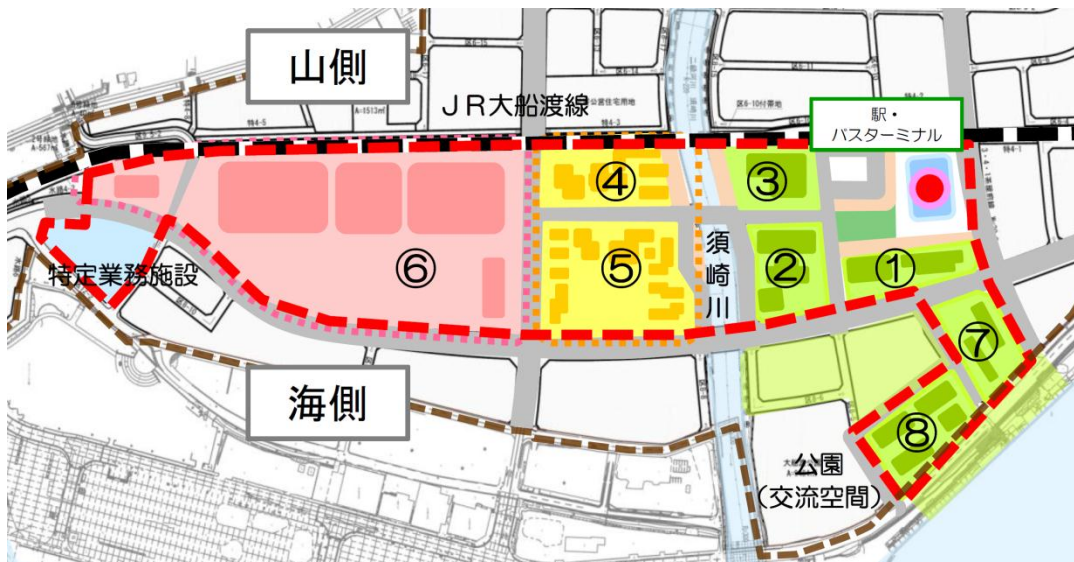
昨年12月には、エリアマネジメントの推進母体となるまちづくり会社（株式会社キャッセン大船渡）を関係団体等の出資のもと設立いたしました。

1 商業街区の施設整備について

街区別の施設整備状況

	予定借地人	現在の状況
①街区	さいとう製菓(株)	・施設の基本設計を策定中。
③街区	(株)サクラダ	・平成27年3月に建設工事に着手。 ・平成28年3月にオープン予定。
⑥街区	大船渡再開発(株) ※旧(仮称)株マイヤ復興グループ	・7月8日付けで大船渡再開発株式会社を設立。 ・10月1日に一部店舗の起工式を挙げる。
②⑤⑦⑧街区	(株)キャッセン大船渡 ・(株)エルスール大船渡 ・(仮称)(株)海来 ・(仮称)おおふなと夢商店街(株) の一部事業者	・12月15日付けで株式会社キャッセン大船渡を設立。 ・まちなか再生計画作成と津波立地補助金の申請に向け、出店予定者との店舗配置等の調整を随時実施し、商業施設の配置計画、事業計画等を検討中。 ・出店希望者数30（平成27年12月28日現在） 業種別：物販10、飲食17、サービス3
④街区	(仮称)おおふなと夢商店街(株) (以下「夢グループ」という)	・4街区において、グループ補助金を活用し、独自の商業施設を建設する予定。 ・補助金の申請のため、店舗の配置計画、事業計画及び資金計画等を作成中。 ・出店希望者数26

【津波復興拠点区域図】



2 エリアマネジメントの推進体制について

H28.1.6 大船渡駅周辺地区官民連携まちづくり協議会

(1) 株式会社キャッセン大船渡の設立（詳細は別紙参考資料1のとおり）

- ①法人の商号：株式会社キャッセン大船渡
- ②設立日：平成27年12月15日（登記の日）
- ③資本金：3千万円
- ④代表取締役：戸田公明
- ⑤キャッセン大船渡の事業
 - ・施設を所有し、テナントに賃貸する「不動産賃貸事業」
 - ・津波復興拠点区域内の付加価値創造事業を担う「エリアマネ事業」
 - ・自ら事業を実施し収益を上げる「自主事業」
- ⑥キャッセン大船渡が担う役割
 - ・大船渡駅周辺地区全体の高質化に資するエリアマネジメントの推進
 - ・津波拠点区域全体の高質化に資するエリアマネジメントの推進
 - ・キャッセン大船渡が借地人となる地域内の商業集積街区における商業施設運営

(2) 大船渡駅周辺地区官民連携まちづくり協議会規約の改正（詳細は別紙資料4のとおり）

- ①まちづくり会社設立準備室の廃止
 - ・まちづくり会社の設立に伴い、大船渡駅周辺地区官民連携まちづくり協議会まちづくり会社設立準備室設置規程により、まちづくり会社設立準備室を廃止し、併せて室員の指名を解除します。（詳細は別紙参考資料3のとおり）
- ②協議会規約の改正
 - ・まちづくり会社の設立や大船渡駅周辺地区の商業施設等整備の進捗に伴い、大船渡駅周辺地区官民連携まちづくり協議会規約を改正します。

(3) 今後の進め方

- ①企業グループ
 - ・タウンマネージャーを中心に、さいとう製菓(株)、(株)サクラダ及び大船渡再開発(株)との間で、エリアマネジメント分担金等を調整する。
- ②商業者グループ
 - ・仮設施設の撤去時期について調整する。
 - ア. キャッセン大船渡
 - ・2街区及び5街区に整備する商業施設については、平成28年2月の津波立地補助金申請に向けて、検討を進める。
 - ・7街区の将来的な活用については、8街区と併せて、キャッセン大船渡による借地を優先しつつ、借地人の公募等も含めてタウンマネージャー及び市において検討を進める。
 - ・津波立地補助金の申請にあたり、グループ補助金との重複がないよう出店申込者の確認作業が大船渡商工会議所と連携を図りながら進める。
 - イ. (仮称) おおふなと夢商店街
 - ・次回のグループ補助金の申請のため、店舗配置や全体の事業計画、個別商業者の経営計画の策定が必要であり、商工会議所及び金融機関の協力を得ながら、作業を進める。

3 ロードマップ（案）について（詳細は別紙参考資料4（非公開）のとおり）

- ・商業街区の基盤整備や各種補助金等の申請に合わせ各街区のスケジュールを修正。